

第2回議員会議を開催

第2回議員会議を11月19日に開催しました。

議員会議は、市民の多様な声を代表する議員が、市政全般や議会活動等について自由な形式で討議し、相互理解を深めながら最善の方向を追求していく場です。今回も議会活性化調査特別委員会の主催で、議会運営の基本原則を定める「議会基本条例」をテーマに議員間で活発な意見交換が行われました。

今後も継続して議員会議を開催して議会の活性化を図ります。

12月定例会の日程

- 11月26日 (月) 開会、決算議案委員長報告・採決、議案上程
- 12月3日 (月) 5～7日 (金) 議案質疑、一般質問、委員会付託
- 12月10日 (月) 各常任委員会
- 12月12日 (水) 各特別委員会
- 12月18日 (火) 常任委員会委員長報告・採決



観光振興議員連盟が観光協会と懇談会を開催

11月19日、津山市議会観光振興議員連盟が主催し、「地域の歴史と文化・自然を生かした観光振興について」をテーマに、市内の各観光協会と津山市産業経済部との懇談会を開催しました。

観光は、たいへん裾野の広い産業であり、関連産業の発展や雇用の創出などは、地域経済の活性化に大きな影響を及ぼす重要な課題です。

参加者からは、「合併によって市域が広がり新しい観光資源もできたが、いかに活用していくか」「文化や歴史や自然、そういった宝物をどうしたら、観光につながられるか」など、多くの意見が交わされました。

今後も定期的にこのような会を開催し、観光協会や行政とも互いに協力しながら、当市の観光振興が図られるように努力していきます。

つよまな声をお届けしました

市政に対する個人質問

12月定例会では、3日 (月) から7日 (金) までの5日間にわたって、23人の議員が質問を行いました。掲載の質疑は議員が作成し、議員の責任で掲載しています。似顔絵については、各議員が持ち寄りました。

議員名に★印が付いている議員は一問一答方式を選択しました。



土地開発公社債務整理

津山新星会議 近藤吉一郎



質問 ↓ 厳しい財政状況下、多額の公金投入を伴う土地開発公社解散プランの実施は得策なのか。

答弁 ↓ 解散プランを実施すれば、三セク債償還に単年度5～6億円弱の一般

財源が必要となるが、著しい行政サービス低下を招かぬよう、さらなる行革、選択と集中の予算編成により、市民生活への影響を最小限にとどめたい。試算では、三セク債115億円を30年償還する場合の金利負担は約35億円。一方、現状のまま利子補給のみを行う場合は30年間で約69億円の財政支援が必要で、プランを実施しなければ34億円の損失が生じるほか、元金返済のめども立たず、財政負担が続くことに。解散プランは、長期的には財政負担の抑制、安定化に役立つ妥当な選択と判断する。